

旧県立体育館解体・記録保存事業について

1 経緯

平成26年9月：閉館

令和5年2月：解体の方針を表明

令和5年2月県議会定例会：解体工事実施設計予算を計上

令和5年度～令和6年度：解体工事実施設計

令和7年2月県議会定例会：解体工事予算等※を計上

※解体工事に係る令和7年度歳出予算として170百万円を計上（令和7年度～令和9年度の合計額として1,009百万円）（債務負担行為 令和8年度～令和9年度）

解体工事予算とは別に、3D測量や動画撮影などのデジタル技術も活用して、記録を丁寧に残していく記録保存事業（52百万円）を実施

2 解体工事の工法及びスケジュール（予定）

工法については、地上から重機を用いて行う地上解体を予定

工事の入札予定時期は、第2四半期を予定

工期は約20か月の見込み（令和7年度～令和9年度）

3 記録保存の進め方（予定）

工事前、工事中、工事後の3つのステップで時期を捉え、解体工事の進捗に合わせて実施

記録に残す対象として、形状などの「建物の現況」と、建設当時の構造技術などの「技術力」を、また、保存の方法として、図面、写真、動画、3次元データなどにより、建物の情報を可能な限り収集するとともに、それらに基づき、報告書を作成し、学術的な価値をまとめる

旧県立体育館の特徴や価値を長く県民の皆様に残し伝えていくため、効果的な調査・手法により、建物の現況や建築当時の高い技術力を、丁寧に記録していく

4 県広報誌「THE かがわ」

県広報誌「THE かがわ」6月号に本事業の記事を掲載